国土を整え、全力で備える
国土交通省
中国地方整備局
Ministry of Land, Infrastructure,Transport and Tourism
Chugoku Regional Development Bureau

お知らせ

記者発表資料 配　布　日　時	令和６年７月４日 １４：００

■同時発表先：
合同庁舎記者クラブ・ 広島県政記者クラブ・山口県政記者クラブ・山口県政記者会
・山口県政滝町記者クラブ・中国地方建設記者クラブ

令和６年７月１日からの大雨による河川の状況等をとりまとめました。

～中国地方整備局管内の出水概況【第１報】～

梅雨前線の活発化に伴う中国地方の降雨、河川の水位、浸水被害や中国地方整備局の対応状況等をとりまとめました。

【資料の特徴】
・主な河川における出水概要のほか、直轄管理ダムの洪水調節状況、河川の被害状況・対応状況等を一覧で確認できます。

【資料の掲載場所】
・中国地方整備局ホームページ（中国地方整備局管内の出水概況）
https://www.cgr.mlit.go.jp/kisya/pdf/240704-2top.pdf

【主な内容】
・気象及び出水の概要
・主な河川における水位の状況
・被災状況について
・避難に係る情報提供
・治水事業の効果について　　等

【問い合わせ先】
国土交通省 中国地方整備局
☎（082）－221－9231（代表）（平日昼間）
河川部　河川調査官　西尾（にしお）　正博（まさひろ）（内線　3513）
河川計画課長　向田（むかいだ）　清峻（きよたか）（内線　3611）

令和6年7月1日からの大雨による出水（梅雨前線）
中国地方整備局管内の出水概況【第1報】7月4日（木） 14時現在

国土を整え、全力で備える
国土交通省
中国地方整備局 河川部

～目　次～

1. 気象及び出水の概要　・・・P2～5

2. 主な河川における水位の状況　・・・P6～7
　1）佐波川

3. 被災状況について　・・・ P8～9
　1）佐波川

4. 避難に係る情報提供　・・・ P10～11

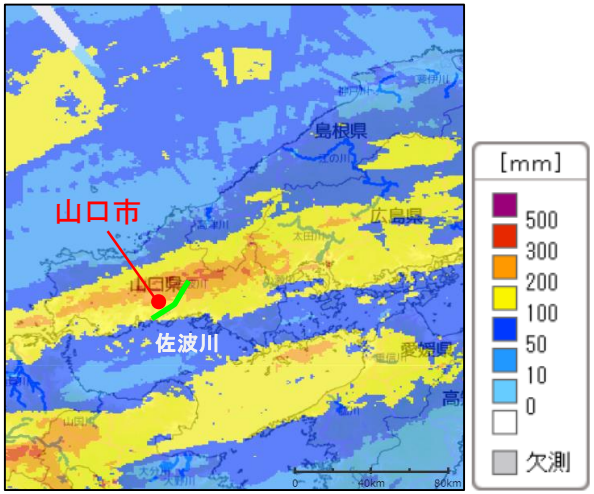
5. 治水事業の効果について　・・・ P12～16

1．気象及び出水の概要

気象概要（佐波川水系佐波川等の状況）

■令和6年6月29日から7月2日にかけ、梅雨前線に向かって流れ込む湿った空気の影響で前線の活動が活発化し、中国地方全域で大雨となった。
■山口県では、1日24時までの48時間に累加雨量で300ミリを超える大雨となっている所があり、一級河川佐波川の漆尾水位観測所では氾濫危険水位（レベル4 避難を求める段階）である4.00mを超過する4.06m（令和6年7月1日6時50分）を記録した。

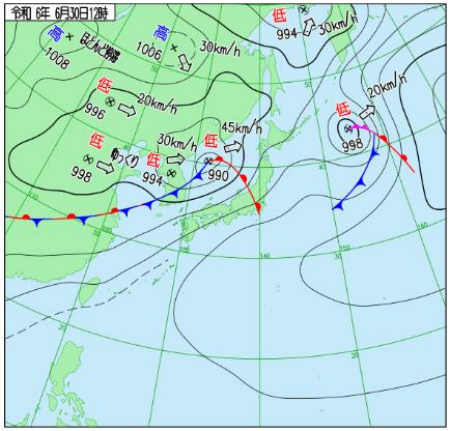
■累加雨量図（レーダ雨量）【国土交通省作成】

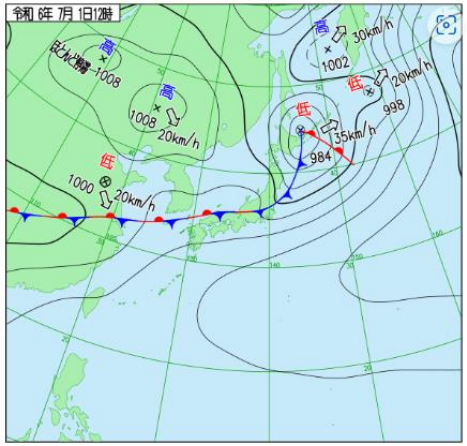


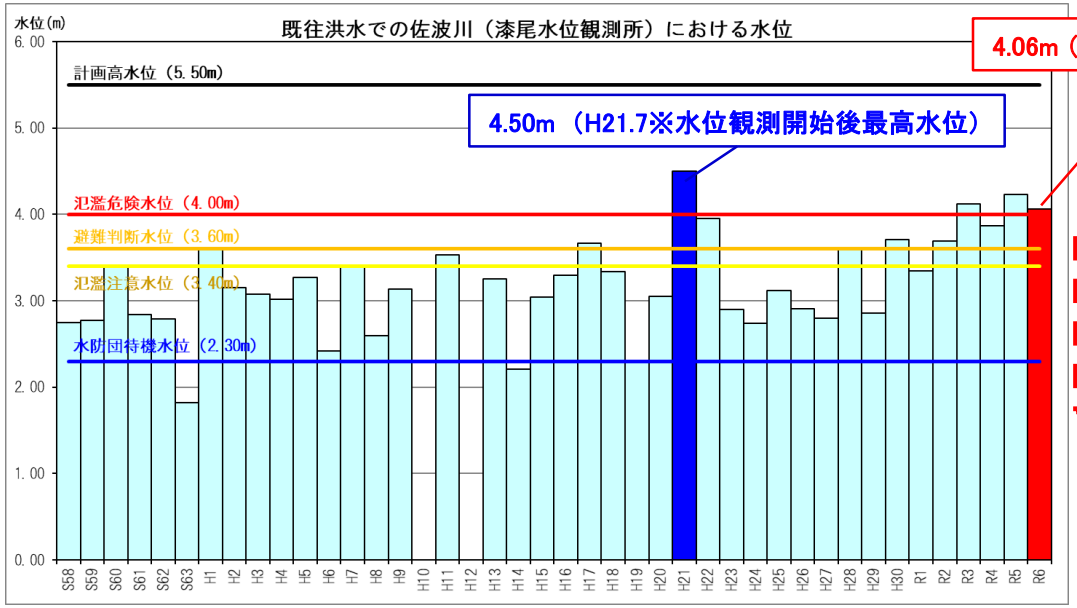
※累加雨量　48時間（6月29日24時から7月1日24時までの48時間）

■観測所位置

■実況天気図　【気象庁ＨＰより】







今回の出水により、漆尾水位観測所において、水位観測開始後第4位となる4.06mを記録。

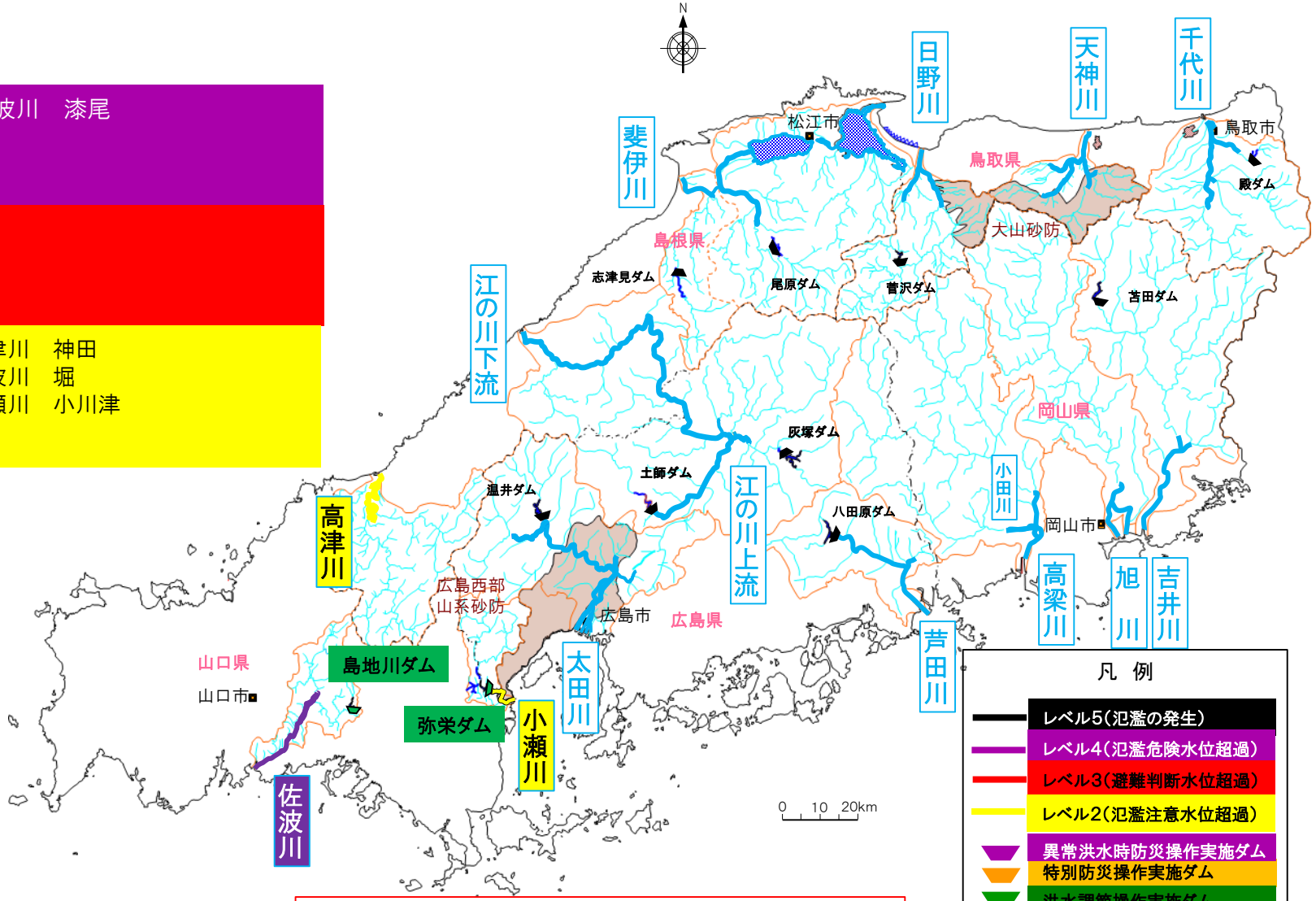
※数値等は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。

国管理河川の状況

■今回の出水では国管理河川において1水系1河川1観測所で「氾濫危険水位」を超過、3水系3河川3観測所で「氾濫注意水位」を超過しました。

■河川出水状況（国管理区間）

★レベル４ 氾濫危険水位超過 １水系１河川 １観測所	佐波川水系佐波川　漆尾
★レベル３ 避難判断水位超過 ０水系０河川 ０観測所	なし
★レベル２ 氾濫注意水位超過 ３水系３河川 ３観測所	高津川水系高津川　神田 佐波川水系佐波川　堀 小瀬川水系小瀬川　小川津



※数値等は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。

中国管内の国直轄管理ダムによる洪水貯留

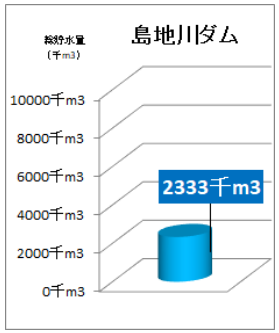
- 洪水貯留操作を行った管内の国管理２ダム（島地川ダム、弥栄ダム）により、**約10,005千m³**（東京ドーム約8杯分）**の洪水を貯留し、下流河川の流量を低減**
- また、管内の国管理ダム、補助ダム、利水ダムにおいて事前放流※１を実施（合計5ダム）

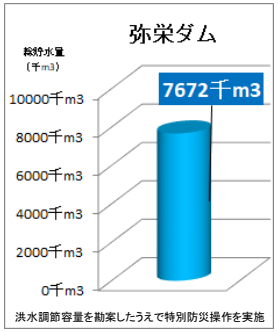
■洪水貯留操作状況（国管理ダム）

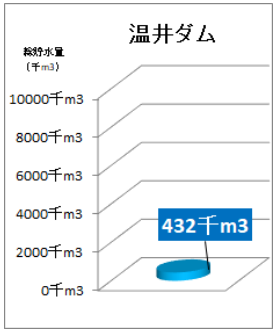
●洪水貯留操作（洪水量に達したダム）＜２ダム＞
島地川ダム（佐波川水系）、弥栄ダム（小瀬川水系）

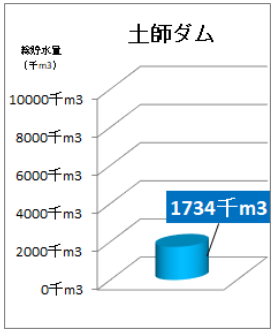
※１　『事前放流』とは、計画規模以上の大雨となることが予想される場合に、河川の水量が増える前に利水容量から放流して一時的にダムの貯水位を下げて容量を確保しておくこと。
また、本洪水に対して既に確保すべき貯留容量が確保されているダムも含む。

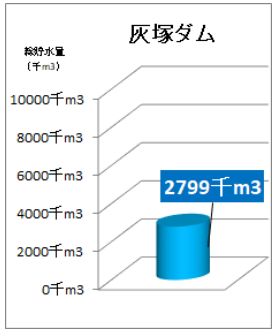
※7月2日10時までのダム貯留量を反映

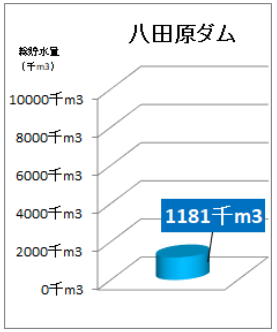


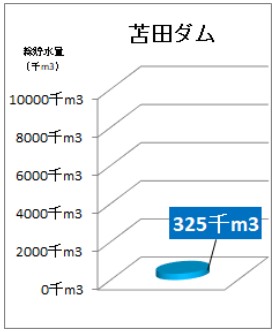


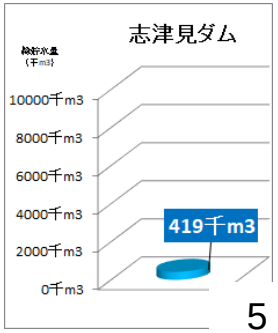


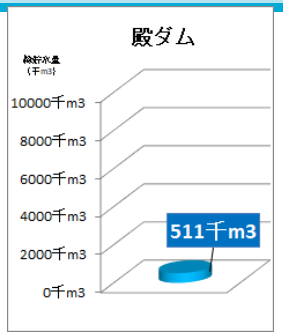


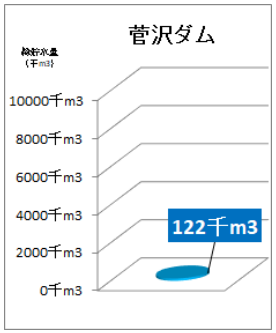


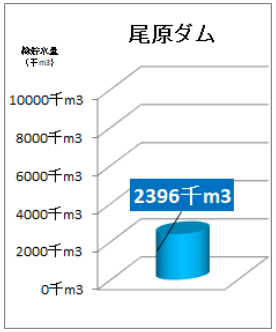












2. 主な河川における雨量・水位の状況

1）佐波川（さばがわ）

1)佐波川の状況(CCTV映像)

佐波川水系佐波川(漆尾水位観測所付近) 平常時

7月1日 7時頃

佐波川水系佐波川(新橋水位観測所付近) 平常時

7月1日 7時頃

3. 被災状況について

1) 佐波川（さばがわ）

１)佐波川水系佐波川の被害状況 等

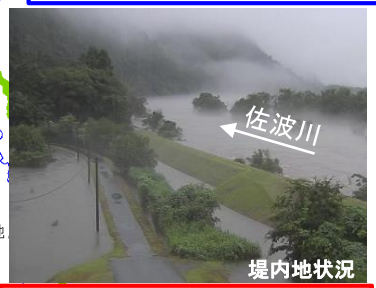
令和６年７月１日梅雨前線豪雨被害状況 等

佐波川右岸21k600付近
（山口市徳地堀）
霞堤箇所の農地浸水
約0.2ha⇒解消

佐波川右岸25k200付近
（山口市徳地堀）
溢水による農地浸水
約0.8ha⇒解消

佐波川左岸24k800漆尾水位観測所
ピーク水位付近（7月1日6:50時頃）

佐波川右岸19k200付近
（山口市徳地岸見）
霞堤箇所の農地浸水
約2.2ha⇒解消



佐波川左岸20k600付近
（山口市徳地伊賀地）
霞堤箇所の農地浸水
約0.3ha⇒解消

佐波川左岸17k800付近
（山口市徳地岸見）
内水による農地浸水
約0.6ha⇒解消

佐波川左岸12k690睦美橋付近
（7月1日8時頃）

佐波川右岸16k200付近
（防府市中山）
霞堤箇所の農地浸水
約0.7ha⇒解消

※　数値等は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。

4. 避難に係る情報提供

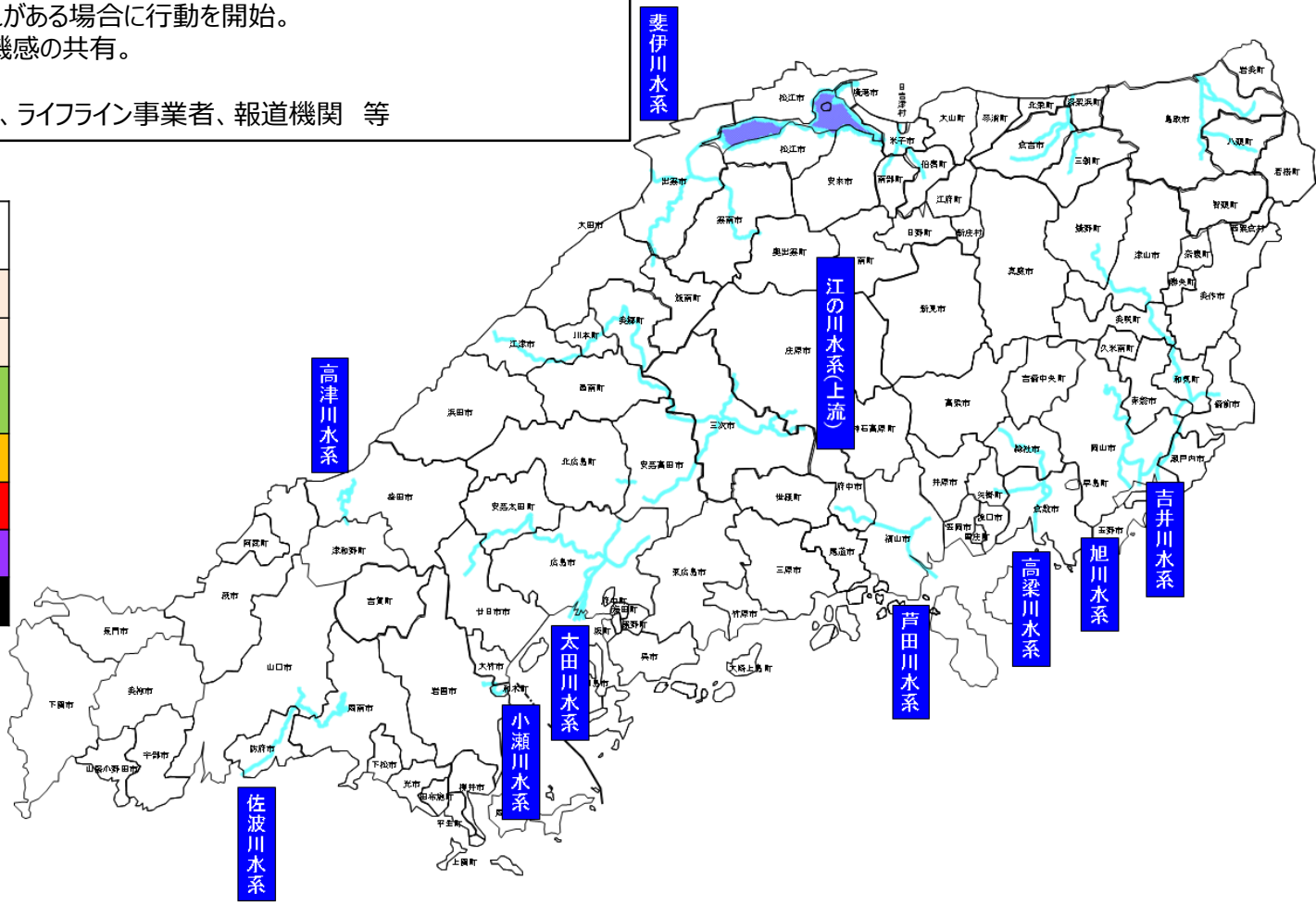
水害対応タイムラインの活用

■災害発災前の危機感共有と、的確な事前防災行動を取るための防災行動計画（水害対応タイムライン）を、中国地方整備局管内の一級水系１３水系において策定しています。
■今回の大雨では１０水系でタイムラインを立ち上げ、各レベルで定められた防災行動を実施しました。

○水害対応タイムラインとは、災害の発生が予想される際に、時間軸に沿ってレベル毎に整理した各防災関係機関が取り組むべき項目を定めた、共通の防災行動計画。
○台風及び前線性の降雨に対応し、災害発生の恐れがある場合に行動を開始。
○気象情報の見通しなどWeb会議ツール等による危機感の共有。
【連携する機関】
国、流域内の地方自治体、ダム管理者、交通機関、ライフライン事業者、報道機関　等

佐波川水害タイムライン（一部抜粋）

タイムラインレベル	想定状況（例）	行動項目（例）
0 （3日前）	3日後に台風被害の恐れ	(県・市)備蓄資材確認 (報道)気象情報の報道
0 （2日前）	2日後に台風被害の恐れ	(市)水防団等への注意喚起 (JR)計画運休可能性の周知
1	水防団待機水位超過	(市)臨時休校の決定と周知 避難所開設 (JR)計画運休の決定
2	氾濫注意水位超過	(JR)計画運休の実施 (NEXCO)防府西・防府東IC閉鎖
3	避難判断水位超過	(市)高齢者等避難発令
4	氾濫危険水位超過	(市)避難指示発令
5	氾濫発生	(市)緊急安全確保発令 自衛隊への災害派遣要請



5. 治水事業の効果について

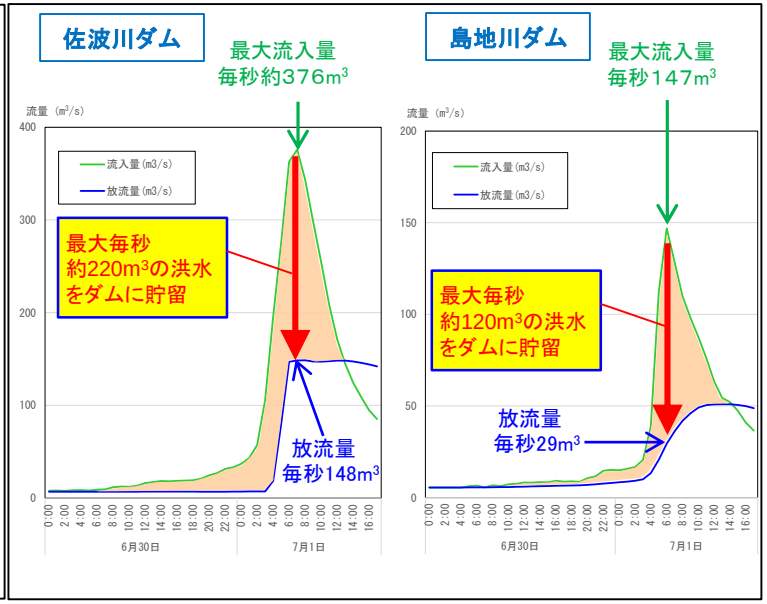
ダムの洪水調節や河川改修による治水効果（佐波川水系佐波川）

速報版

国土を整え、全力で備える
国土交通省
中国地方整備局

- 佐波川流域では、令和６年６月３０日夜から１日朝にかけて大雨となり、堀雨量観測所では、降り始めからの総雨量が２１１mmと７月１ヶ月分平均値の２／３に匹敵する記録的な雨量を観測。
- 佐波川流域では「防災・減災・国土強靭化のための３か年緊急対策」や「防災・減災、国土強靭化のための５か年加速化対策」による河道掘削を実施してきたこと、島地川ダム（国）及び佐波川ダム（山口県）による洪水調節を実施したことにより、9k000（防府市上右田地先）付近において約１．１mの水位低減効果を発揮。
- 今回の出水では、平成21年7月出水と概ね同規模の雨量（速報値）であり、平成21年7月出水においては佐波川流域で河川氾濫や土砂災害による浸水被害が発生したが、これまでの治水事業および砂防事業により浸水被害を大幅に軽減した。

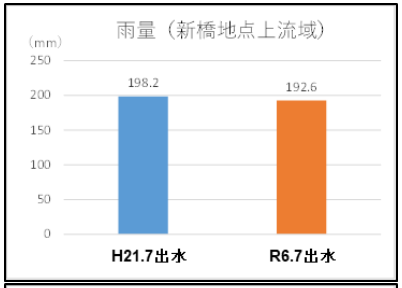
上右田地区整備状況（9k000付近）



平成21年7月中国・九州北部豪雨により、佐波川流域のいたるところで河川が氾濫し、浸水被害が発生。
また、防府市を中心に山口県内各地で土砂災害が多発。

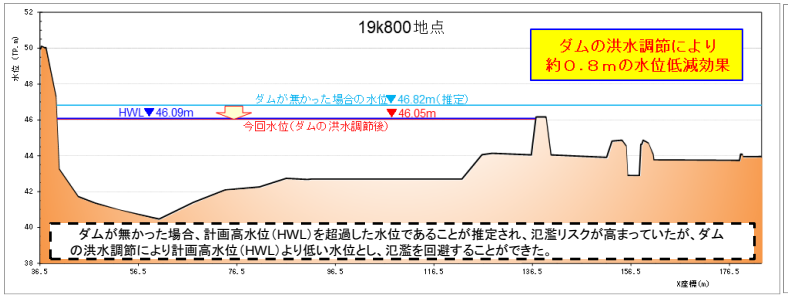
平成21年7月の被害状況
（防府市下右田）

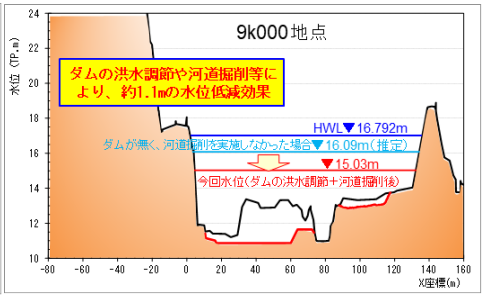
剣川2号堰堤
H24.7月完成

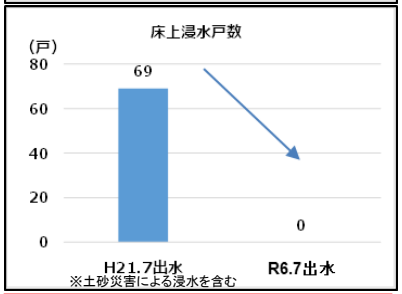


水位低減効果

19k550付近
令和6年7月1日　午前8時20分頃







※数値等は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。
特に、雨量については現在も降雨継続中のため、今回分については降り始めからとりまとめ時刻までの雨量を示しています。

ダムの洪水調節による治水効果 （弥栄ダム）

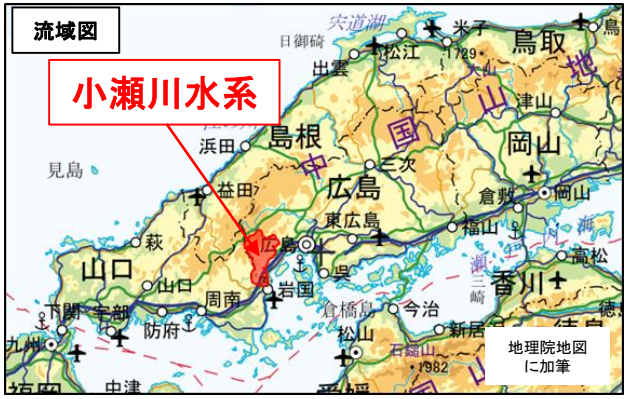
速報版

国土を整え、全力で備える
国土交通省
中国地方整備局

〇令和6年6月29日からの梅雨前線の影響による降雨により小瀬川流域の流域平均累加雨量は226mmを記録。

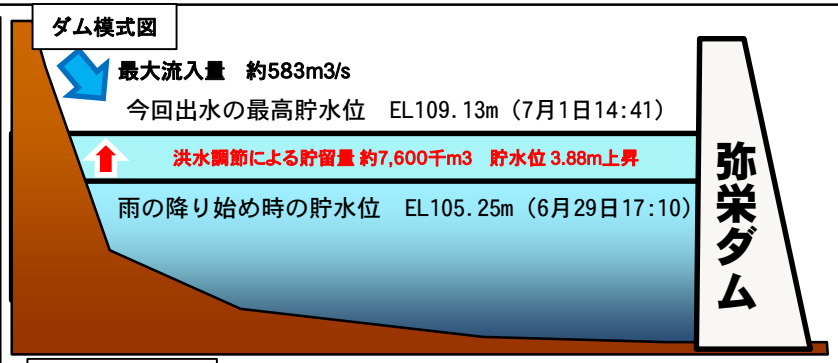
〇弥栄ダムの洪水調節により約7，600千m3の洪水をダムに貯留し、下流の小川津（おがわづ）では約1.4mの水位低減効果が図られ、ダムがなかった場合、避難判断水位に迫る水位と推定される。

流域図

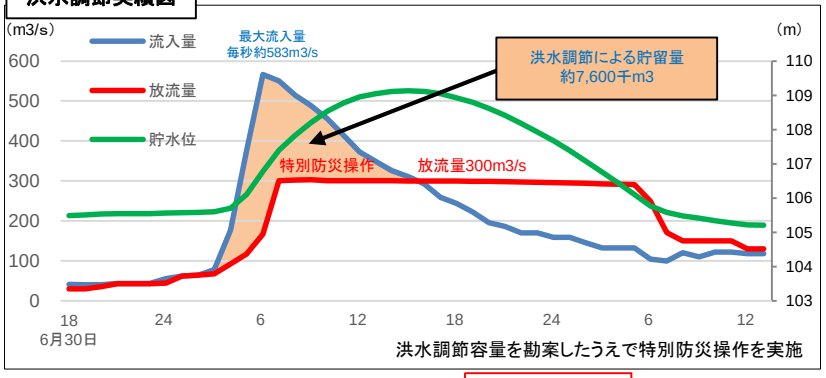


位置図

ダム模式図

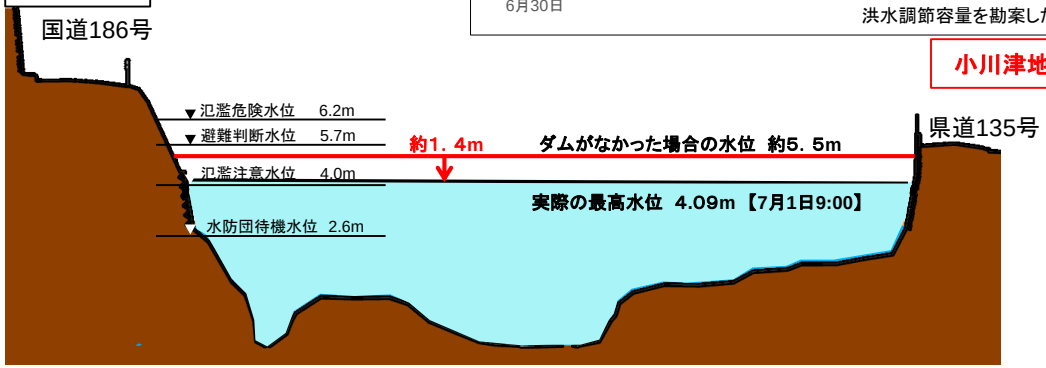


洪水調節実績図



現地状況（小川津（おがわづ）地点）

ダムの効果



これまでの河川整備による効果【芦田川水系福川大規模特定河川事業】（広島県）

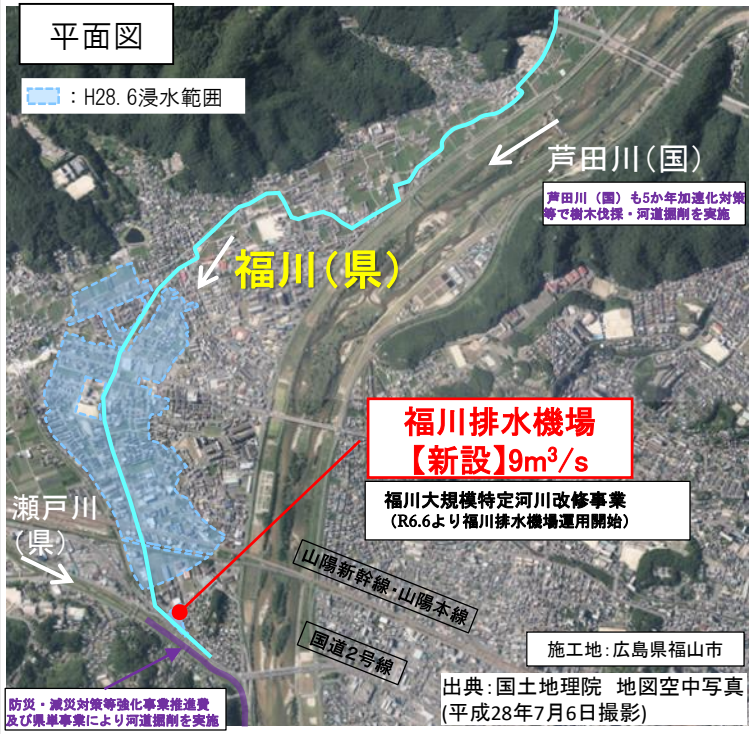
速報版

■芦田川水系福川では、平成28年6月豪雨において累加雨量154mmの降雨により、床上及び床下浸水が762戸と甚大な被害が発生した。
■過去の出水を踏まえ、「5カ年加速化対策」等を活用し、福川排水機場の整備（9m3/s）を集中的に実施し、令和6年6月に運用を開始した。
■今回出水（令和6年7月1日）では、時間雨量が平成28年度豪雨を超える雨量を記録したが、治水対策による水位低下により浸水被害は発生しなかった。

位置図

平成28年6月豪雨の福山市内浸水状況

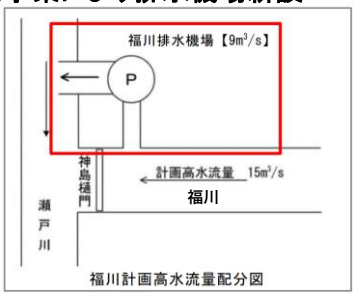
平面図



出典：国土地理院　地図空中写真（平成28年7月6日撮影）

これまでの治水対策

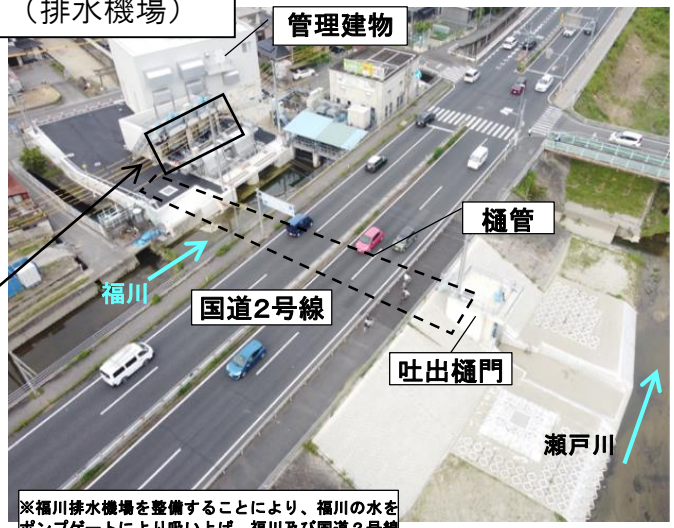
補助事業により排水機場新設



福川計画高水流量配分図

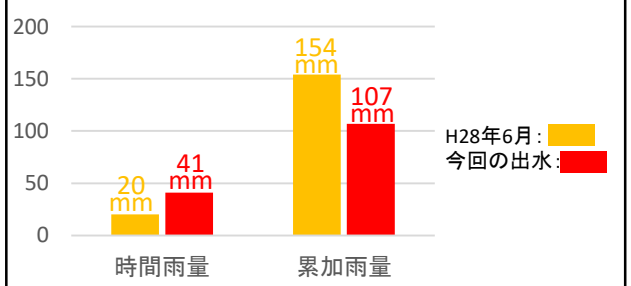
ポンプゲート（2.25m3/ｓ×４基）

整備箇所全景（排水機場）



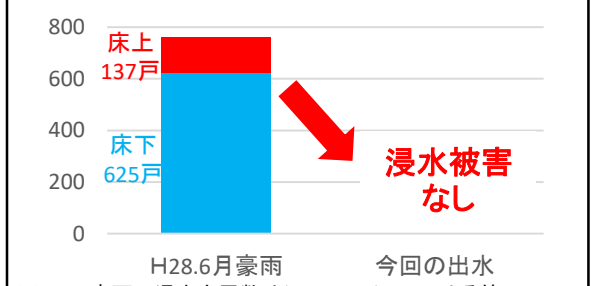
※福川排水機場を整備することにより、福川の水をポンプゲートにより吸い上げ、福川及び国道２号線の下を樋管により流下させ瀬戸川に吐出する。

今回の出水と過去の降雨量との比較



※瀬戸雨量観測所（県）

整備効果



※H28.6豪雨の浸水家屋数はシミュレーションによる値

これまでの河川整備による効果（手城川水系手城川及び谷地川）（広島県・福山市）

速報版

■手城川水系手城川では、平成20年7月豪雨において床上浸水38戸、床下浸水86戸、浸水面積30haが発生

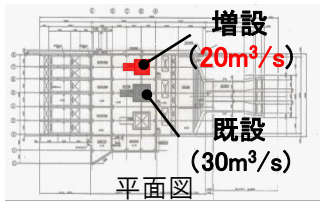
■令和元年9月に河川管理者（広島県・福山市）と下水道管理者（福山市）が共同で100mm/h安心プランを策定。「５カ年加速化対策予算」も活用し、下水道事業と共に、排水機場のポンプ増設（R5.4運用開始、今回出水時も稼働）や河道掘削等による河川整備で、床上浸水被害の解消を目指し事業推進中。

■今回出水（R6年７月１日）ではH20出水を上回る規模の雨量を記録したが、治水対策による水位低下により浸水被害は発生しなかった。

位置図

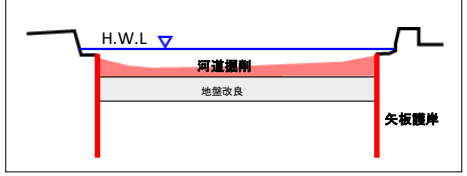
これまでの主な治水対策

手城川大規模特定河川事業（排水機増設） ※R5.4運用開始



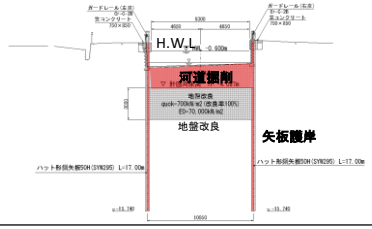
事業間連携河川事業及び防災・安全交付金事業（河道掘削）

手城川（広島県）（R2～継続実施中）



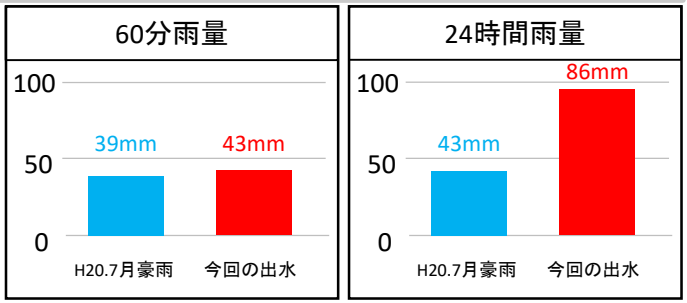
事業間連携河川事業（河道掘削）

谷地川（福山市）（R2～継続実施中）



事業実施箇所

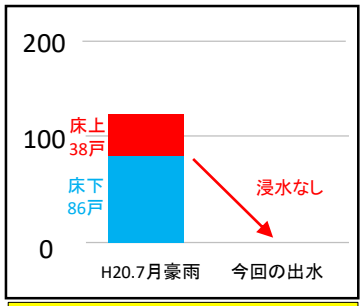
R6年7月1日における降雨量と過去との比較



雨量データ　東部建設（県）（東部建設事務所内）

平成20年出水を上回る雨量を観測

治水効果



平成20年出水時の浸水範囲、戸数が解消）